

金魚ちようちんリングノート

柳井PRのANA特別版製作

非売品で空港利用者の記念グッズに

柳井市は、岩国錦帯橋空港開港記念グッズの第1弾として、「金魚ちようちんリングノートANA特別版」(A6サイズ)を製作。2月1日から、柳井市を訪れた空港利用者などにプレゼントする。

市は今回、柳井(YANA)のローマ字の中に、「ANA」があることに着目。Y(柳井)とI(岩国)をANAが結ぶというコンセプトで、柳井ブランド商品である金魚ちようちんリングノート(木阪賞文堂)のANA特別版を1000冊(31万5000円)製作した。

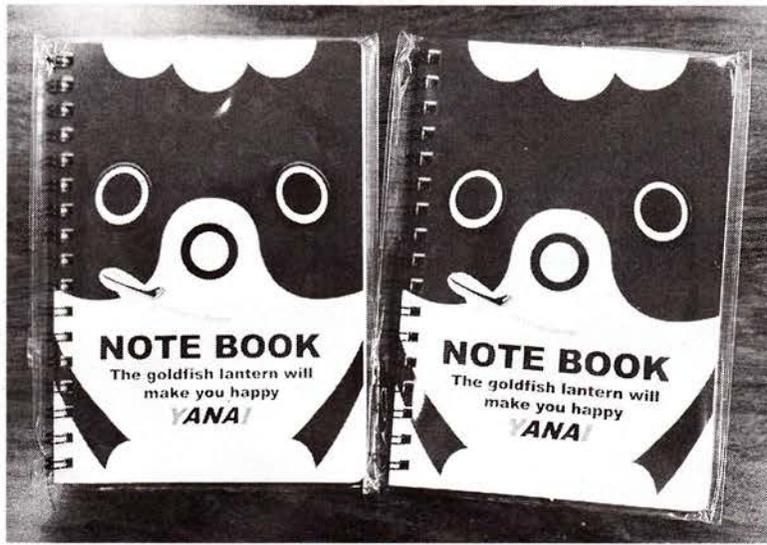
企画に当たっては、同空港に就航している全日本空輸(ANA)山口支店に提案し、同社の了解を得て、作製の運びとなった。

ノートの表面は、全面に描かれた金魚ちようちんの顔とANAの飛行機をデザイン。色はANAカラーの青色。裏面には、山口県柳井市の地図と白壁と金魚ちようちんの写真、金魚ちようちんの由

来が掲載されている。市では、2月1日から、市観光協会が実施している「パワースポットめぐりスタンプラリー」に参加した空港利用者や市内有料観光施設を利用した際の記念グッズとしてプレゼントする。

これに先立ち、羽田空港でのキャンペーン(1月18日、20日)と、きんさい柳井 物産フェア(1月23日、27日、東京・日本橋)のおいでませ山口館)の来場者に進呈している。

なお、この商品は数量限定の非売品のため、販売はしていない。(写真は柳井市が製作した岩国錦帯橋空港開港記念グッズ「金魚ちようちんリングノートANA特別版」)



入所者と職員10人が集団感染

地域別では、岩国の30・63人がトップで、次いで長門の25・67人、下関の20・93人。柳井は15・20人となっている。

山口県は22日、柳井市内にある認知症対応型共同生活介護施設で、ノロウイルス(小型球形ウイルス)が原因とみられる感染性胃腸炎が集団発生し、入所者と職員10人が発症したと発表した。

県健康福祉部健康増進課によると、18日から入所者7人(80〜90歳代)、職員3人が順次発症。おう吐や下痢の症状が出て、うち入所者3人からノロウイルスが検出された。重症者はいなかった。22日現在、5人は回復し、残る5人も快方に向かっているという。

第15回「安下庄海の市」

1月27日 新名物のカキ七輪焼きなど

第15回「安下庄海の市」(1月場所)が27日(日)、午前9時から午後2時まで、周防大島町西安下庄の橋総合支所奥漁協管理地で行われる。安下庄海の市実行委員会主催。

安下庄海の市は、地域の活性化と交流の場をめざし、1昨年11月から毎月1回ペースでイベントを開催しており、今回で15回目となる。今回の特色は次の通り。

- ①新鮮海産物・農産物の提供(瀬つきアジや寒ブリ、車海老の提供、地元新鮮野菜の提供)
- ②新鮮海産物や農産物の網焼き(新名物カキや鮮魚を網焼き)
- ③お楽しみコーナー(福引きで景品ゲット、輪投げで景品ゲット)
- ④子ども市場(地元のご店、もちや高専生による野菜パン・東北支援特産品の販売、地元高専生の特製釜による焼き芋販売)
- ⑤島スクエアブース(島スクエア修了生の起業に向けての準備・紹介コーナー)
- ⑥問い合わせ先は、安下庄海の市実行委員会(☎0820・77・1004)まで。

福祉センターでは、この施設に対し、消毒方法などの衛生指導を行った。県では、感染性胃腸炎の予防対策として、①石けんをよく手を洗いましょう②感染した人の便やおう吐物には直接触れないようにしましょう③食品の取り扱いに注意しましょう④調理器具はよく洗って殺菌しましょう、と呼びかけている。